

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1年前期	1	2	教職必修
担当教員			
松本 直己			
添付ファイル			

講義概要	現在、教職に就いている多くの教師は、児童・生徒のところに優れた教師に出会い、その高い指導力や優れた人格等に感化されて自らも教職を選んだケースが少なくありません。児童・生徒の豊かな成長発達を支援し、それを温かく見守っていく教師という職業は、昨今、教育改革が進展する中で保護者や地域・社会の期待も大きく、強い使命感と責任感、高い倫理観が求められています。 この講義では、教職に関する基礎基本を押さえながら、教師として身に付けるべき資質・能力等を学習します。		
授業計画	1	オリエンテーション ・年間計画、授業展開、評価方法、課題・小テスト等。	
	2	教職を志す。教師の仕事と役割。 ・教員の果たすべき職責や役割。 ・地域とともにある学校づくり。	
	3	日本の教職の歴史 ・教育制度の変遷。 ・現代の教育者像の成立。 ・教職の歴史を理解する。	
	4	教育実践を支える教育法規 ・現代学校教育の基本法制。 ・教育法規について。	
	5	学び続ける教師を目指して ・養成・採用・研修の一本化について。 ・教員研修計画とは。	
	6	チームとしての学校 ・「チーム学校」とは何か。 ・「チーム学校」の抱える課題を具体的に把握。	
	7	教員の身分と任用 ・教員の身分と任用について概説。	
	8	教員の服務 ・教員の服務を法規及び事例を中心に学習	
	9	教員の勤務条件 教員の勤務に係る課題を中心に学習する。 「働き方改革」の理念と実態	
	10	教師の仕事の特質と内容 ・教員の日常の仕事について具体的に確認 ・その意義や特質について考察する。	
	11	管理職・主任の役割 学校運営の組織・体制について理解を深める。	
	12	教師の資質向上 ・教員に求められる資質とは何か。 ・資質の向上のための施策。 ・教員の心掛けるべき事項。	
	13	学校の抱える諸課題について ・個々が考える学校の諸課題について意見交換。 ・いじめ問題、不登校問題とどう向き合うか。	
	14	教育実習の意義と心得 ・教育実習の実際とその意義	
	15	大学生の進路選択と教職―教員採用選考の傾向と対策― ・教員採用試験の傾向 ・教員採用試験の内容の確認 定期試験	
授業形態	講義（テキストの要点レジュメを配布）を中心に、必要に応じて新聞・雑誌等の教育に関するトピックス、討論などを取り入れて展開します。 アクティブラーニング：①：8回、②：4回、③：0回、④：0回、⑤：0回、⑥：0回		
達成目標	・教職とは何か、教職の意義を理解すること ・教職観の変遷と理想の教師像について理解すること ・教員養成の歴史と現状について理解すること ・教員の身分、任用、服務及び勤務条件について理解すること ・教師の仕事の特質と内容について理解すること ・教師の資質向上と研修の重要性について理解すること		

評価方法・フィードバック	小テスト及び定期試験の成績、授業態度、発表等により総合的に評価します。原則として、小テスト等のフィードバックは次回以降の授業内で実施する。
評価基準	秀＝目標達成90～100% 優＝目標達成80～89% 良＝目標達成70～79% 可＝目標達成60～69% 不可＝目標達成59%以下
教科書・参考書	教科書：『教職論』（久保富三夫、砂田信夫編著、ミネルヴァ書房 2018年）
履修条件	教職志望者であること
履修上の注意	学校教育に関するニュースや社会の動きなどに関心を持つこと
準備学習と課題の内容	学習内容をよく理解するために、事前に必ず教科書類を一読し、理解できない箇所や疑問に思う点などをチェック（確認）した上で、授業に臨むこと。（毎回、予習復習それぞれ1.5時間程度）
ディプロマポリシーとの関連割合（必須）	知識・理解:30%, 思考・判断:20%, 関心・意欲:20%, 態度:15%, 技能・表現:15%
DP1 知識・理解	
DP2 思考判断	
DP3 関心意欲	
DP4 態度	
DP5 技能・表現	